

## 技術開発テーマ別 令和5年度新規採択課題 一覧（全6件）

## ○ターミナルオペレーションの高度化に関する技術開発（2件）

技術開発課題名（概要）	技術開発代表機関 技術開発分担機関	技術開発期間
<p><u>AIを活用したコンテナ蔵置計画の最適化</u> （概要） AIによる荷繰り最少化システムと物流シミュレーター（AutoMod）、TOSを連携させ、荷繰り最少化AIシステムや物流シミュレーターによるシミュレーション結果を用いたターミナルオペレーションの最適化（各種計画の作成等）を行う技術を開発する。</p>	<p><u>㈱日立製作所</u>  ㈱三井E&amp;S、三井倉庫㈱</p>	<p>令和5～7年度 （3年間）</p>
<p><u>TOS高度化によるRFコンテナ管理の効率化と荷役安全性の確保に関する技術開発</u> （概要） RFコンテナの温度や故障情報、電源プラグ着脱状態等を自動的にモニタリングする技術や、リアルタイムの電源プラグ着脱状態をオンライン荷役指示システムへ連携する機能を開発する。</p>	<p><u>JFEエンジニアリング㈱</u>  正興ITソリューション㈱</p>	<p>令和5～7年度 （3年間）</p>

## ○荷役機械の高度化に関する技術開発（2件）

技術開発課題名（概要）	技術開発代表機関 技術開発分担機関	技術開発期間
<p><u>ガントリークレーンの遠隔操作化に関する技術開発</u> （概要） ガントリークレーンを遠隔で操作することが可能となる技術を開発する。</p>	<p><u>JFEエンジニアリング㈱</u>  （単独開発）</p>	<p>令和5～7年度 （3年間）</p>
<p><u>RTGと構内シャーシの連携技術の開発</u> （概要） RTGの下に到着したトレーラーの位置や停止角度を自動的に検出し、スプレッダーの位置や角度を自動的に調整する機能を開発する。 また、RTGからトレーラーに対して適切な位置に停止するための指示信号を送信する技術についても開発する。</p>	<p><u>㈱三井E&amp;S</u>  （単独開発）</p>	<p>令和5～6年度 （2年間）</p>

## ○ターミナル内のコンテナ輸送の高度化に関する技術開発（1件）

技術開発課題名（概要）	技術開発代表機関 技術開発分担機関	技術開発期間
<p align="center"><u>コンテナヤード内横持トレーラー運行の 高度化に関する技術開発</u></p> <p>（概要） TOSから運行管理システムに対して荷役指示を送信し、運行管理システムから当該荷役指示を構内トレーラーに送信するとともに、当該荷役指示に基づいてドライバーの運転操作を補助する技術を開発する。</p>	<p align="center"><u>苫小牧栗林運輸(株)</u> 日野自動車(株)、(株)三井E&amp;S</p>	<p align="center">令和5～7年度 (3年間)</p>

## ○港湾労働者の安全性や作業効率向上に関する技術開発（1件）

技術開発課題名（概要）	技術開発代表機関 技術開発分担機関	技術開発期間
<p align="center"><u>不安全行動の定量的評価に基づく 事故抑止ソリューション開発</u></p> <p>（概要） ターミナルにおける事故発生事例を収集、整理、分析し、収集・整理した事故を防止するための安全教育ツールや、直接的に事故を防止するための各種機器の開発を行う。</p>	<p align="center"><u>正興ITソリューション(株)</u> (株)マリンソリューションズ</p>	<p align="center">令和5～7年度 (3年間)</p>